



# はなもみじ



屋代  
小学校

春秋ごまごま旬うなり

## 読書旬間中(12/6~17)です!

~ 8日(水)校長講話から ~

今週から、読書旬間が始まりました。朝、ニコニコしながら図書袋を持って、急ぎ足で図書館に向かう皆さんをよく見ます。屋代小には、本が好きな子がいっぱいいるのだと、うれしく思っています。

さて、読書旬間によせて、2つの本を紹介します。

1冊は「せいめいのれきし」という本です。



旬間が始まりにぎわう図書館



バージニア・リー・パートン 文・え

私が小学生5・6年生のころに読んだ、この黄色い表紙と緑や赤で描かれた絵、そして、地球の誕生から植物や動物が生まれ現在に至るまでを、舞台劇を見るような絵と文で書かれた内容がとても印象に残っていました。

私の思い出の本を、是非、皆さんに紹介したいと思い、一生懸命、家の中や物置の中を探しましたが、みつかりませんでした。そこで、本屋さん

に問い合わせると、今でも売られていることが分

かり、さっそく買い求め、今日持ってきました。  
新しい絵本が毎年たくさん出るので、その多くは2・3年で読まれなくなり、売られなくなると言う話を聞いたことがあります。この本は約50年間も印刷し続け、多くの子どもたちに読み続けられています。

右ページが舞台となっており、舞台のそでに登場するナレーターたちが「せいめいのれきし」を語っていく。銀河系に太陽が生まれ、地球が生まれ、生物が登場し、植物が育ち、恐竜が闊歩し、哺乳類がすべての生き物の王となるまで。そして、人間が登場し、農業を生業に暮らすまでの長い長い物語。

最後は、これから生命の歴史を作っていく皆さんに語りかけています。終わりかたを楽しみに、読んでみてください。

次に、この人(右写真)はだれでしょう? そうです、宇宙飛行士の山崎直子さんです。2冊目の本は「瑠璃色の星」という山崎直子さんが書き、今年10月に発行した真新しい本です。山崎さんは、6年生が生まれたころの1999年2





月に、宇宙飛行士候補に選ばれ、訓練を始めます。しかし、その後、7人の仲間がスペースシャトルの事故で亡くなり、計画がどんどん遅れてしまいます。それでも山崎さんは夢をあきらめず、11年間訓練を続け、今年の4月5日、ついにスペースシャトル「ディスカバリー号」に乗り、宇宙に飛び出しました。夢が叶えられました。

そのとき、宇宙から地球を眺め「瑠璃色の 地球も花も 宇宙の子」と、俳句をつくりました。「瑠璃色の星」のお話は、宇宙飛行士の体験談だけでない、私たちのこれからの生き方を考えさせられる内容があります。

地球が生まれたころからと、これから皆さんがつくっていく未来を考える、2冊の本を紹介しました。低学年の人には難しいかもしれませんが、絵もきれいですので、手に取ってみてください。

読書旬間、**一生心に残る本**をみつけてください。



先生方がすすめる本も、是非、この機会に読んでみましょう。新しい出会い・発見があると思います！

## 一斉読書



読書旬間中は、朝の活動は15分間の「一斉読書」です。

- 1 **みんなでやる**：学校全体、学年全体、クラス全体で、本に向かいます。もちろん先生も一緒です。気持ちが一つになると、本に集中できます。
- 2 **続けてやる**：毎日、本に向う習慣をつけることがポイントです。
- 3 **好きな本でよい**：「こんな本を読みなさい」と押し付けることはしません。自分のレベルで楽しく読める本を、自分で選びます。
- 4 **ただ読むだけ**：読むこと以外、何も求めません。ただただ読みます。

## 親子読書



土曜日・日曜日は、親子読書に取り組んでみましょう。

- 1 親子で同じ本を一緒に読みます。
- 2 親子で読書タイムをもちます（別々の本を読む）。
- 3 親が子どもに好きな本を読んで聞かせます。
- 4 子どもが親に好きな本を読んで聞かせます。
- 5 親子でそれぞれ読んだ本の感想を話します。



方法はいろいろ。  
是非、ご協力を！

学校ホームページの「図書館」のコーナーでも情報を発信中です。